

# 日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## おしどり学園町外研修 今年も倉吉方面へ

『打吹山伝説』を学ぶ

10月20日、おしどり学園町外研修を行い、学園生27人で倉吉を訪ねました。バスで日野町を出発し、午前10時ごろ鳥取短期大学に到着。はじめに鳥取短期大学講師・出雲かんべの里館長の酒井薫美さんに「打吹山の天女について」と題して講演いただきました。



酒井さん

「打吹山の天女」の伝説は、地元では東郷湖や打吹山など、土地と結びついて語られています。『伯耆の中ほどに大きな湖があり、そこに舎人という獵人が湖に出て獵をしように思っている』と、そこに美しい天人が水浴びをしていた。舎人はこんな美人が自分の妻になったらと思いついて、天人の着ていた羽衣を取って天人が上がるのを待っていた。天人は「羽衣を返してください」と何度も言ったが舎人は返さない。天人はとうとう舎人の言うことを聞いて妻になつた。

天人に浅津と言う名前を付

け、やがて舎人と浅津の間に、お倉とお吉という2人の女の子が生まれた。妹のお吉が12、3歳の時、舎人の留守中に、浅津がお倉とお吉に、父親が何か隠していないかと問いつめると、お倉が「この前お父さんの後をつけて行ってみたら、大きな山の上に石があった。何か出して見ては喜んで、またそれをしまつて帰んなつた」と話した。

浅津は子どもをそこに置いて大きな石の所に行き（その石は羽衣石といつて、現在も残っています）、その石の下から羽衣を出して身にまとい、空を2、3回まわる。子どもたちがいくら呼んでも見向きもしないで空へ空へ上がつていく。姉妹は笛を吹いたり太鼓をたたいたりしたが、浅津は見知らぬ顔で西の方へ舞つていき姿が見えなくなつ

た。姉妹は父親の所へいまして、帰るわけにもいかず、とうとう里に住みついた。その里が現在の倉吉市である。『倉吉という地名は、お倉とお吉からとつて付いたもので、また、この「打吹山の天女」は世界中に伝説として広がっているそうです。』

『倉吉緋』の歴史にふれる

引き続き、緋美術館館長の吉田公之介さんに「倉吉緋」について講演いただきました。『倉吉緋は、県中部の倉吉とその周辺地域で織られていた。県西部の弓ヶ浜半島地域の「弓浜緋」、島根県広瀬町の「広瀬緋」と並ぶ、山陰の緋の1つで、江戸末期に織り始められた。最盛期は明治中期から末期ごろで、多くの緋問屋や緋工場ができ、年間約3万8千反が織られていた。このころ倉吉緋は国内外で高い評価を得て数多くの賞を受賞した。』



吉田さん

倉吉緋の特徴は、商業緋に

限つて言うと、他地域の緋と比べて極端に緋足が少ない（ずれが少ない）こと。倉吉では、絵師が書いた絵画的な模様などを、緋足の少ない染物のように図柄がきつちりと合った精巧な緋が織られていた。商業的に高級品としての緋を作ることで購買層を変えることができ、他の地域の緋との競争を避けることができたという。

しかし大正時代に入ると、大資本を背景にした機械織製品におされてしだいに衰退していった。第二次世界大戦後は衣料不足の影響もあつて一時的に緋を織る人も増えたが、安い工場製品が大量に出まわつていくようになった。

その後、高度経済成長時代になると人々の暮らしにも変化が訪れ、重くて臭う緋の布団や着物、機は無用の長物になり、倉吉では緋はほとんど織られなくなつた。

現在では倉吉緋を残そうという人々たちによって倉吉緋保存会が作られ、緋の保存と技術の伝承に努めており、鳥取短期大学の緋美術館並びに緋研究室もその一端を担っている」と話されました。

## 子ども居場所づくり事業 『子どもアジゴ釣り教室』



子ども居場所づくり事業

当初9月中旬に予定していましたが、台風接近により仕方なく中止にしていましたが、子どもたちから「どうしても釣りがしたい！もう一度計画してほしい！」との声が多く寄せられ、10月28日にあらためて開き、子ども15人と保護者4人が参加、境港市の夢みなと公園でアジゴ釣りを楽しみました。

当日は、時間帯が遅かったせいか、潮流などの影響で魚が深く潜ってしまい、なかなか針にかかりませんでした。特に低学年の子は苦しんでいたようですが、最後によりやく魚を釣ることができ、喜んでいました。

### 公民館からのお願い

公民館は多くの皆さんが各部屋を利用されます。

部屋の利用後は必ず掃除をしてくださいますようお願いいたします。

### 地域防犯・生活安全パトロール協議会 『歩いて地域を見守り隊』大歓迎！

地域防犯・生活安全パトロール協議会では、地域の安全・安心を守るため、会員が日々防犯パトロールを行っています。

会員の活動は主に青パトによる町内全域の防犯パトロールですが、そのうち舟場では、地域ぐるみで「歩いて地域を見守る」防犯活動に取り組んでいます。

青パトで町内全域を巡回することは、とても大きな防犯啓発活動になりますが、やはり一番大事なのは地域に住む町民の目ではないかと思えます。また、会員としてはありませんが、黒坂下3区の皆さんも、黒坂小学校周辺の見回りをしてくださっています。

今、協議会では青パトはもちろん、歩いて自分たちの地域を見守ってくださる会員の方を募集しています。毎日ではなく、自分の都合の良いとき、歩けるときに子どもたちと一緒に通学路を歩いてみて、安全を見守っていただけないでしょうか？

問合せ 地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局（町公民館 電話74 0212）

### パソコン教室を開きました

10月の毎週水曜日の夜、「エクセルを基礎から学ぼう」と題してパソコン教室を開きました。

このパソコン教室は毎回受講希望者が多く、今回の教室も定員を上回る応募がありました。公民館職員の指導でエクセル表計算の基礎から始め、最後は家計簿の作り方まで学習しました。

全4回の教室を終え感想を聞いたところ「これからはパソコンを使って家計簿を作ってみます」と言われる受講生もありました。

### 公民館ロビー展

## 動くおもちゃと紙人形展

(12月18日まで)

公民館まつりで子どもたちが作った動くおもちゃと、生田洋子さん(下菅)の紙人形を展示する予定です。どうぞご覧下さい。

(展示時間=8:30~17:30)

展示作品を募集します

町公民館では、グループや個人の絵画、写真、手芸などの作品展示を企画していますので、出品希望がありましたらご連絡ください。

### 第9回おしどり学園のご案内

日時 12月15日(金)9:00~12:30

場所 町公民館

内容 一般教養講座「気象について」

講師:川上護さん

グループ専門講座

## 第7回 公民館まつり

日時 11月24日(金)~26日(日)

8:30~17:30(最終日は15:00まで)

場所 町公民館

内容 各種教室、もちつき・ぜんざい販売、作品展示など

主な催し物

開会式(公民館駐車場)=24日(金)9:00~

内容=テープカット、黒坂小児童による傘お

雨天の場合はテープカットのみ

お楽しみ抽選会(公民館玄関)

26日(日)12:00~13:00

抽選会の引換券渡し(公民館玄関)

25日(土)12:00~13:00

素敵な景品をたくさん用意していますので、お誘いあわせお出かけください。

公民館まつりの詳しい内容は11月2日全戸配布のチラシをご覧ください。